



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 エスライン

コード番号 9078 URL <http://www.slinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 嘉彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 村瀬 博三

TEL 058-245-3131

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,417	△1.7	194	△46.1	302	△34.8	266	—
23年3月期第3四半期	30,946	7.5	360	△48.0	463	△40.8	△81	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 303百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.69	—
23年3月期第3四半期	△3.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	27,860	14,879	51.2
23年3月期	28,484	14,743	49.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 14,260百万円 23年3月期 14,125百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△0.8	360	△41.8	450	△40.9	165	△20.7	7.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	21,753,993 株	23年3月期	21,753,993 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	904,260 株	23年3月期	585,131 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	21,019,806 株	23年3月期3Q	21,369,593 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による景気停滞から徐々に企業の生産活動の回復が見られたものの、欧州債務問題などによる海外経済の減速や、歴史的な円高の長期化などにより回復のペースは大幅に鈍化し、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要な事業であります物流関連業界におきましては、このような経済環境のもと、企業の生産活動の復旧に伴い貨物量は徐々に回復傾向にあるものの、貨物獲得競争による輸送単価の下落や、お客様からの物流経費の見直し要請、更には軽油価格の高止まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様が求められる物流ニーズに的確にお応えするために、グループ各社の得意とする業務分野で機動力を発揮するとともに、担当分野で培った物流ノウハウや施設を当社グループ全体で共有して、より質の高い物流サービスを提供するために、当社グループの総合力を結集して取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益304億17百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益1億94百万円（前年同期比46.1%減）、経常利益3億2百万円（前年同期比34.8%減）、四半期純利益2億66百万円（前年同期は81百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [物流関連事業]

物流関連事業の主な事業収益は、貨物自動車運送事業、倉庫業、自動車整備事業、情報処理サービス業、損害保険代理業などであります。

貨物自動車運送事業のうち、当社グループの主力であります特別積合せ部門では、貨物輸送量減少による配送効率の低下、燃料費や中継料の増加、更には、お客様からの物流経費の削減要請なども重なり、非常に厳しい状態が続いております。家電配送部門においても、地デジ化移行の完了を機に、家電の配送・セッティング業務が急激に減少いたしました。

このような状況のなか、昨年の夏前からいち早く取り組んだ東日本大震災で被災された方々への物資配送業務（個人宅毎の品揃えから宅配及び据付作業まで）が高く評価されことにより、年末にかけて官民各所からの依頼を受けて、冬用の家電製品をはじめ生活必需品の配送支援業務に協力するなど、お客様の要請に的確にお応えする物流サービスに積極的に取り組んでまいりました。

この結果、物流関連事業の営業収益は299億19百万円（前年同期比1.8%減）、セグメント利益（営業利益）は5億66百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

#### [不動産関連事業]

不動産関連事業につきましては、エスライングループ各社にて保有している遊休資産の有効活用を図るために、外部への賃貸事業を営んでまいりました。

この結果、不動産関連事業の営業収益は2億90百万円（前年同期比11.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億37百万円（前年同期比50.7%増）となりました。

[その他]

主に、旅客自動車運送事業を営んでおります。岐阜地区の高校や大学の通学バスを中心とした定期運行に加えて、冠婚葬祭時の送迎や学校の長期休暇時のサークル活動、さらには地域グループの行楽などの要請に応え、安全と安心を第一に、引き続き地域に密着した運行を行ってまいります。

この結果、その他の営業収益は2億7百万円（前年同期比1.9%減）、セグメント利益（営業利益）は30百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の連結資産合計は278億60百万円となり、前連結会計年度比6億24百万円減少しております。この主な要因は現金及び預金の減少、固定資産の減価償却による減少と建物・土地の取得による増加であります。

また、連結負債合計は129億80百万円となり、前連結会計年度比7億59百万円減少しております。この主な要因は借入金の減少、法人税の法定実効税率の変更による繰延税金負債の減少であります。

連結純資産合計は148億79百万円となり、前連結会計年度比1億35百万円増加しております。この主な要因は四半期純利益による増加と配当金の支払による減少であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、平成23年11月11日に公表した内容から変更はございません。

なお、実際の業績については、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

#### (法人税率の変更等による影響)

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降開始する連結事業年度より法人税率が変更されるとともに、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に開始する連結事業年度においては、復興特別法人税が課税されることとなりました。これに伴い、平成24年4月1日から開始する連結事業年度以降において解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産および繰延税金負債を計算する法定実効税率が39.8%から37.2%に変更されています。また、平成27年4月1日から開始する連結事業年度以降において解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産および繰延税金負債を計算する法定実効税率が34.8%に変更されています。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における繰延税金負債の金額が2億42百万円減少し、法人税等が2億34百万円減少しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,794	2,032
受取手形及び営業未収入金	5,296	5,308
貯蔵品	53	59
繰延税金資産	37	76
その他	286	389
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	8,456	7,861
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,336	5,121
機械装置及び運搬具（純額）	1,221	1,117
土地	10,251	10,616
リース資産（純額）	124	92
建設仮勘定	—	191
その他（純額）	99	81
有形固定資産合計	17,033	17,220
無形固定資産		
投資その他の資産	595	501
投資有価証券	1,264	1,143
繰延税金資産	143	217
その他	1,010	939
貸倒引当金	△18	△23
投資その他の資産合計	2,399	2,277
固定資産合計	20,028	19,999
資産合計	28,484	27,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,413	4,166
短期借入金	1,190	830
1年内返済予定の長期借入金	495	413
未払法人税等	212	61
賞与引当金	226	199
役員賞与引当金	10	7
設備関係支払手形	26	1
その他	601	929
流動負債合計	7,176	6,609
固定負債		
長期借入金	357	448
繰延税金負債	2,186	1,957
退職給付引当金	2,998	3,042
役員退職慰労引当金	177	176
資産除去債務	203	187
負ののれん	90	55
その他	549	504
固定負債合計	6,564	6,371
負債合計	13,740	12,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,938	1,938
資本剰余金	2,812	2,812
利益剰余金	9,406	9,567
自己株式	△115	△174
株主資本合計	14,043	14,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	114
その他の包括利益累計額合計	81	114
少数株主持分	618	619
純資産合計	14,743	14,879
負債純資産合計	28,484	27,860



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	30,946	30,417
営業原価	29,370	29,015
営業総利益	1,575	1,401
販売費及び一般管理費	1,215	1,207
営業利益	360	194
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	28
受取賃貸料	28	20
負ののれん償却額	36	35
持分法による投資利益	—	6
その他	41	43
営業外収益合計	131	134
営業外費用		
支払利息	17	12
持分法による投資損失	1	—
売上割引	3	4
債権売却損	6	6
その他	0	3
営業外費用合計	28	26
経常利益	463	302
特別利益		
固定資産売却益	23	26
補助金収入	31	4
その他	1	1
特別利益合計	56	32
特別損失		
固定資産除売却損	20	65
減損損失	3	0
投資有価証券評価損	170	173
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	—
その他	27	0
特別損失合計	334	238
税金等調整前四半期純利益	185	96
法人税等	266	△174
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△80	271
少数株主利益	1	4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81	266

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△80	271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	32
繰延ヘッジ損益	△43	—
その他の包括利益合計	20	32
四半期包括利益	△59	303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59	299
少数株主に係る四半期包括利益	△0	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	30,473	261	30,734	211	30,946	—	30,946
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,473	261	30,734	211	30,946	—	30,946
セグメント利益	774	90	865	29	895	△534	360

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△534百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流関連 事業	不動産関連 事業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	29,919	290	30,210	207	30,417	—	30,417
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	29,919	290	30,210	207	30,417	—	30,417
セグメント利益	566	137	703	30	734	△539	194

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△539百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社および㈱エスラインギフの総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。